

2017年度 一般社団法人 宇治青年会議所

広報支援特別室 室長方針

副理事長 角田 盛樹
室長 辻 雄介

青年会議所は、創設以来、修練・奉仕・友情の三つの信条のもと、地域社会の発展を目指し活動をしてまいりました。その一方で、組織としての地域における認知度に課題があると考えております。各地の青年会議所で実施されている認知度調査でも課題に挙がっており、私自身も入会するまで青年会議所の名称は知っていても活動内容はほとんど知りませんでした。これまで先輩諸兄が築き上げてこられた歴史を受け継ぎ、さらなる発展を目指すべく取り組んでいる事業について広く一般に発信し、宇治青年会議所の存在意義を高めていく必要があります。

本年度、広報支援特別室では、広報戦略を見直し、ホームページやSNSなどで積極的かつ迅速に情報発信を行います。具体的には、例会や事業などの報告に留まらず、これまで継続して関わっている地域での行事や取り組みの紹介ページを開設するなど、地域の皆さまに関わりのある分かりやすい内容に改め、組織の認知度や理解度の向上に努めてまいります。

また、地域に求められる組織であり続けるために、青少年育成や災害時支援などの社会に貢献する活動も積極的に行います。子どもたちとともに地元宇治への愛着を高めるため、本年度もクリーン宇治に継続的に参画し、環境問題により関心を持って頂けるよう、地域の子どもたちに参加を呼び掛けてまいります。また、万が一災害が発生した際には、いち早く窓口を開設し即応に重点を置いて取り組んでまいります。そして、国際交流の分野として、姉妹JCである香港ブヒニア青年商会とも引き続いて交流を図り関係を強化するとともに、メンバーに対して異文化理解を深めてまいります。

本年度、私はこれまで先輩諸兄が築き上げてこられた実績とその継続性に相応しい認知度を獲得し宇治青年会議所の存在意義を高めるという重大任務を果たすべく、メンバーの広報力育成と積極的かつ迅速な情報発信に率先して取り組み、一人でも多くの仲間を迎えられるよう全力を尽くす所存であります。